

放課後子ども教室だよ

わだ遊友クラブ・ぬかざわ遊友クラブ訪問

子ども教室充実のために

本宮市では7つの放課後子ども教室が行われています。どの教室でも、体験活動を重視した年間プログラムを作成して取り組んでいます。白沢地区のわだ・ぬかざわ・しらいわ遊友クラブ3教室は、平成16年度に開設され今年で12年目となり、地域に根ざした活動になっています。

わだ遊友クラブ

本宮市（11月4日）

わだ遊友クラブは、白沢公民館和田分館を利用して毎週水曜日に実施しています。全学年を対象としていますが、下級生を中心に41名が登録しています。

訪問当日は「おはなし会」が行われました。講師はスタッフの方が務められ、選書・貸出ともにご自分でされるそうです。子どもたちが講師の方の前に集まり、はじめはガヤガヤとしていましたが、読み聞かせが始まると自然と静かに聞き入っている姿がとても印象的でした。大型本の読み聞かせや紙芝居なども行われ、子どもたちは身を乗り出しながら話を聞き、「おはなし会」を楽しんでいました。

わだ遊友クラブでは、「おはなし会」以外にも、けん玉・コマ回し・竹馬などの昔遊びをはじめ、かんたん工作や凧揚げなど体験的な活動も計画されています。



ぬかざわ遊友クラブ

本宮市（11月12日）

ぬかざわ遊友クラブは、白沢公民館糠沢分館を利用して毎週木曜日に実施しています。対象児童数の4割にあたる74名が登録しています。コーディネーター・活動指導員・安全管理員、合わせて7名で運営しています。

訪問当日は「フラフープ」が行われました。1年生にとって少々難しいのではと思われましたが、上級生が良い見本となっており、見様見真似で積極的に取り組んでいました。上級生の中にはフラフープを3個に増やしても、2分以上回し続ける者もいました。児童から自然に拍手がわき起こり、会場全体が賞賛の温かい雰囲気にも包まれていました。また宿題を行う際も、上級生が姿勢良く正座し、集中して取り組んでおり、学習面においても下級生に対する良い見本となっていました。上級生の姿を見て、下級生が学びそして育つという、理想的な縦の関係が構築されていると感じました。

